

消費税の引き上げに『反対』56.7%

「国会議員数や国家公務員人件費の削減が先」「景気に悪影響」など

『賛成』『やむを得ない』37.6%

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の191社。2位が「ニーズの変化への対応」の58社。「大企業の進出による競争の激化」が57社で3位。
- ★ 「消費税増税（2014年4月から8%、2015年10月から10%）」について、「反対」が140社（56.7%）。「やむを得ない」が90社（36.4%）で、「賛成」はわずか3社（1.2%）
- ★ 「現在の雇用人員」について、80.2%（194社）が「適正」と回答。「不足」が12.8%（31社）で、「過剰」が7.0%（17社）。前回に比べ「不足」が減り、その分「適正」が増加。「過剰」は横ばい。

平成24年4～6月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成24年7月に実施した第89回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が89回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は249社（小売業76社、卸売業30社、製造業35社、建設業60社、運輸・交通業15社、観光・サービス業33社）で回収率は49.8%。

【概況】

今期（4～6月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲33.2と、3ヶ月前の前回調査▲から4ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の0.8%、「やや好転」が12.1%で、逆に「やや悪化」が37.2%、「かなり悪化」が8.9%だった。同様に、売上DIも7.6ポイント悪化して▲35.0。採算DIについても0.4ポイント悪化して▲37.3。原材料（商品）仕入価格は30.0から12.9とやや低下傾向。

今回事業所に対し、「政府が法案成立を目指す消費税増税（2014年4月から8%、2015年10月から10%へ引き上げ）について」尋ねたところ、6割弱の140社（56.7%）が「反対」と回答。「やむを得ない」と回答した消極的賛成90社（36.4%）を含め、4割弱の93社（37.6%）が一定の理解を示した。

賛成の理由は、「社会保障制度を維持するため」が42社で最多。「財政再建のため」が32社で続いた。国債と借入金、政府短期証券を合わせた「国の借金」が平成23年度末時点で過去最大の959兆9503億円に膨らんだ現状を考えると、消費税増税は避けられないとの認識もうかがえる。

一方、反対の理由では、「国会議員数や国家公務員人件費の削減が先」が48社で最も多く、「景気に悪影響を及ぼす」（38社）、「無駄な歳出削減が不十分」（35社）が上位に入った。景気対策への十分な配慮やさらなる歳出カットをはじめ、税と社会保障の将来像を一体的に示さなければ、増税への理解は得られない。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

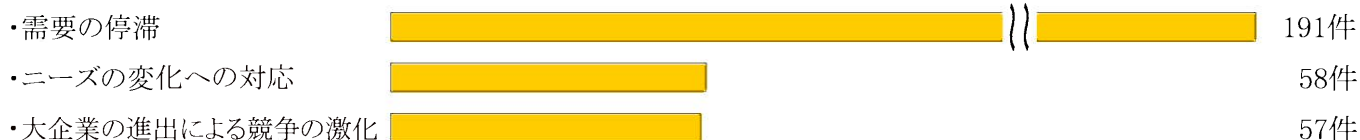
業況は、全業種合計で今期▲33.2。業種別では、小売業、製造業、観光サービス業の3業種で悪化。先行き見通しは▲25.7と、卸売業を除くすべての業種で若干好転するとみている。

売上は、全業種合計で今期▲35.0。業種別では、業況同様、小売業、製造業、観光サービス業の3業種で悪化。売上が減少した理由は、全体では「景気の低迷（後退）」が39社で最多。2番目が「季節的な減少」で25社。業種別では、「小売業」と「観光・サービス業」で「競争激化（競合店の増加・大型店の進出）」、「建設業」で「価格競争の激化」との回答割合が多い。

原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期12.9。原油・原材料価格も高値で推移してはいるが、前期に比べ、軽油・ガソリン価格などは低下してきているように思われる。

採算は、全業種合計で今期▲37.3。業種別では、業況・売上同様、小売業、製造業、観光サービス業種で悪化。理由としては、「売上の減少」が90社と断トツ。前回、2番目に多かった「売上原価（仕入・原材料費）の上昇」が4社（前回17社）に激減したが、逆に「売上単価の低下」が14社（前回5社）と3倍増。

【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



【現在の雇用人員をどのようにお考えですか？】



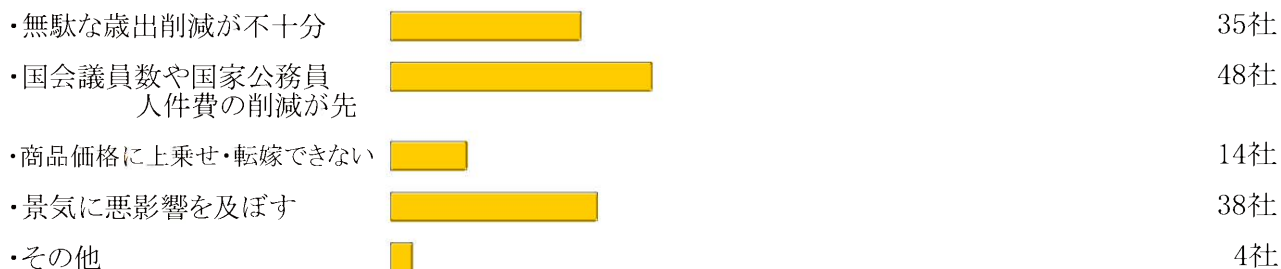
【消費税増税についてどのようにお考えですか？(2014年4月から8%、2015年10月から10%に引き上げ)】



【「賛成」「やむを得ない」と回答された方にお伺いします。理由は？】



【「反対」と回答された方にお伺いします。理由は？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 33.2	▲ 25.7
小売業	▲ 39.5	▲ 20.5
卸売業	▲ 23.3	▲ 34.5
製造業	▲ 40.0	▲ 17.1
建設業	▲ 25.0	▲ 28.8
運輸・交通	▲ 13.3	▲ 14.3
サービス業	▲ 45.2	▲ 38.7

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 35.0	▲ 29.8
小売業	▲ 43.2	▲ 27.5
卸売業	▲ 20.0	▲ 20.7
製造業	▲ 45.7	▲ 26.5
建設業	▲ 24.1	▲ 29.3
運輸・交通	▲ 14.3	▲ 38.5
サービス業	▲ 46.9	▲ 43.8



















(増加割合－減少割合)




【採算(営業利益)DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 37.3	▲ 27.8
小売業	▲ 41.3	▲ 24.3
卸売業	▲ 26.7	▲ 24.1
製造業	▲ 41.2	▲ 26.5
建設業	▲ 30.5	▲ 28.8
運輸・交通	▲ 21.4	▲ 30.8
サービス業	▲ 53.1	▲ 37.5

(好転割合－悪化割合)

【景気天気図】

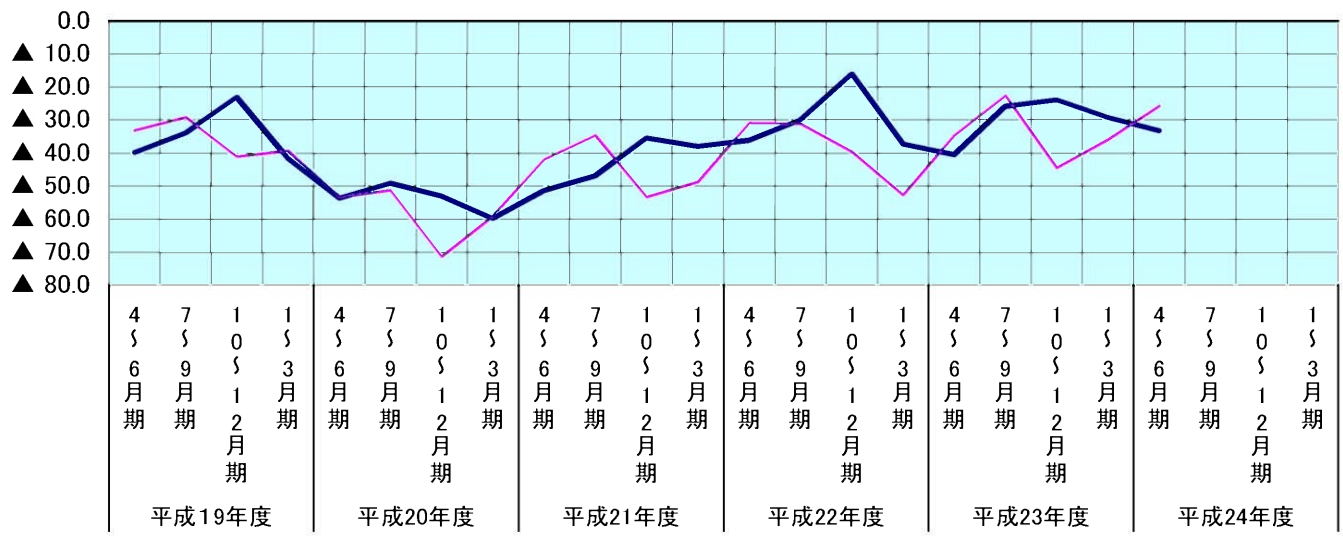
業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
卸 売 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
建 設 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い

全業種

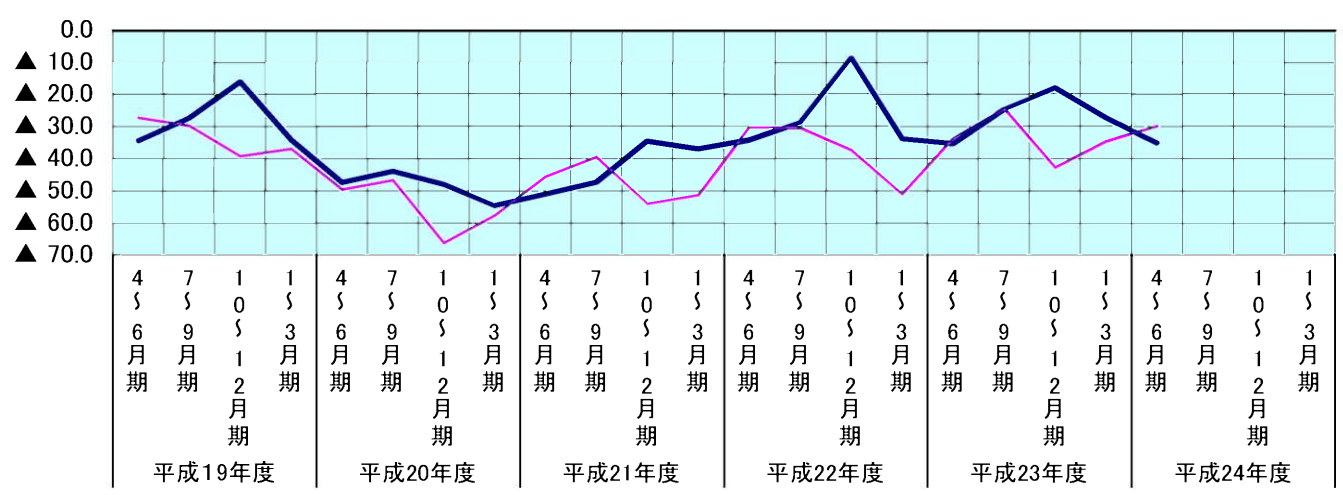
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



採算D.I.の推移

前期比 来期見通し

